

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490700067	事業の開始年月日	平成21年6月1日
		指定年月日	平成21年6月1日
法人名	大信産業株式会社		
事業所名	グルループホームみのり丸ちゃん山ちゃん・2F丸ちゃん		
所在地	(235 - 0011) 横浜市磯子区丸山1丁目16 - 5		
サービス種別 定員等		登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	レ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成23年8月3日	評価結果 市町村受理日	平成23年11月16日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医食同源の考え方から、きちんとした食事をとる事でこころも健康を維持し、その人らしく生活し続けて行かれるようお手伝いいたします。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年8月19日	評価機関 評価決定日	平成23年11月4日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】
当事業所は、JR根岸線根岸駅よりバスで約10分の住宅地に立地し、近くには公園、スーパーマーケットがある。平成21年6月に開所し、建物の1階は同一法人の小規模多機能型居宅介護事業所があり、2階・3階が当事業所となっている。
理念は開設当初より、おいしく食べて心も体も健康に、認め合って、支え合ってその人らしさを大切にするように日頃より心掛けている。

【運営推進会議】
運営推進会議は町内会副会長、民生委員、地域包括支援センター職員、利用者・家族代表などが出席して、運営内容、行事報告を説明し、意見交換を行っている。

【身体拘束をしないケアの取り組み】
職員は身体拘束をしないケアの大切さを学び、三つの原則「原因を取り除くこと 基本的ケアに立ち返る 身体拘束廃止をきっかけによりよいケア」の実践に日頃より取り組んでいる。

【医療連携体制】
事業所は医師と看護師が連携し、24時間連絡体制をとり、安心して医療を受診できる体制にある。

【美味しい食事に努めている】
食事の大切さを重視し、事業所に常駐している法人の代表者が新鮮な食材を購入している。日頃より利用者の好みを取り入れ、栄養バランスの取れた美味しい食事作りに努めている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん
ユニット名	丸ちゃん(2F)

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念の中に「そのひとらしく」を掲げ、住み慣れた地域の中で、たのしみを持って暮らしていけるような会話や外出・交流をしていくよう心がけています行きつけの美容院、行きつけだった近隣の飲食店やかかりつけ医に継続していかれるようお手伝いしています。</p>	<p>理念は、開設当初に管理者の思いを基に、管理者とフロアリーダーが話し合い作成した。2階・3階の事務室に掲示している。新入職員には研修時に説明し、職員は日頃より利用者のその人らしさを大切に、実践につなげるよう心掛けている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会に入れていただき行事等に参加させていただいています。地域の子供の古紙回収や地域の商店を利用したの買い物や毎日の散歩で地域の方々との交流を図れるよう、また、近隣に在住のスタッフがいる事で地域の情報や話題を多くご利用者様と共有できていると思います。もちつき等、町内会で人力が必要な時は 職員配置に配慮をし、お手伝いできる様にしています。</p>	<p>自治会に加入し、地域の盆踊り、もちつき、敬老祝賀会、防災訓練に参加している。近隣に住んでいた利用者の顔馴染みの方が来所したり、子供会の古紙回収に協賛するなどして、地域の方とのふれあいをもちながら暮らしている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>日常生活の中での近隣との交流や、見学に来られた皆様にお伝えしたり、実際にご入居者様と話をさせていただいたりすることで、開設前の説明会で近隣の皆様が挙げられた不安や認知症の入居者さまへの恐怖感等はなくなっていると思います。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に関催することで、コミュニケーションも取れ、お話ししやすい雰囲気になってきています。会議で要望されたことはすぐに対応するよう努めています。実際に会議で、前回要望した事をすぐにやってもらえたと評価頂いた事例もあります。</p>	<p>運営推進会議は、1階の同一法人の事業所と合同で開催している。消防署の方が出席し、避難・誘導の指導を得ている。会議では事業所の行事や取組み、運営内容などを説明し、質問、意見交換を行い、地域の理解と支援を得て運営面に反映するように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の状況を報告し、指導をいただきながら運営しています。ご指導いただいた事には迅速に対応するよう努めております。	管理者は区役所の介護保険課へ運営面や業務上の問題点を報告し、相談している。介護保険の要介護認定更新に家族と一緒に立ち会うこともある。地域包括支援センターの職員が運営推進会議に出席しており、地域の情報を得る機会とする。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常の業務の中で身体拘束になりうる可能性のあることはその場で確認し合い廃止しています。特に言葉による拘束等は気づかぬうちに起り得る可能性が大きいので十分配慮しています。定期的に研修、話し合いの場を設け、事例を挙げながら確認し合う体制を作りました。	職員は身体拘束の勉強会を実施し、拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の鍵は施錠せず、居室の鍵も本人に任せ、安全面と見守りに努め、自由な暮らしを支援している。1階玄関脇に小規模多機能型居宅介護事業所の事務室があり、職員が見守りできる状況にある。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	意識の中にある虐待があるので・・・と考え、スタッフ間の虐待に関する知識や、認識度に合わせて、事例を挙げながら、検討する機会を定期的に設ける体制を作りました。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後 機会を設けていきたいと思いません。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の時には、一緒に契約書、重要事項説明書を確認しています。その場では思いつかないこともあるので 後からのご質問等もお受けすることをお伝えしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見ご要望ボックスを設置しました。皆様から頂いたご意見を運営に反映できるよう努めてまいります。面会に来られたご家族様には、お時間があれば、一緒におやつやお茶を召し上がって頂き 話しやすい雰囲気作りをするようにしています。また、今後気軽に情報交換できる場を考えていきたいと思っております。	苦情や要望の担当窓口は契約時に説明している。運営推進会議や家族の来訪時には、生活の状況を話し、意見や要望を聞いて運営に反映している。2階・3階のそれぞれの廊下にはご意見ご要望ボックスと用紙を備えている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時や、ミーティング以外にもスタッフから申し出があれば、すぐに聞いており、必要であればすぐに実施し、全体で決めるべき事であれば、ミーティングの議題として検討しています。申し出られない事もあると思うので、個人面談をすることもあります。	管理者は毎月のミーティング、勉強会の際に職員から日常業務の要望、意見を聞き、業務の改善に反映している。管理者は23年春より職員とヒアリングを実施し、スキルアップにつなげている。職員の提案により、習字の練習や居間のソファの配置を変えるなどの取り組みを実施した。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めていると思っております。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に適した研修を提案したり、力量に合わせたスタッフ配置を心がげ業務のなかで学び、成長していけるよう配慮しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム連絡会に加入し勉強会等に参加。横浜市の研修等と同職種の交流や連携を図れるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	認知症のご利用者様なので、ゆっくりとご本人のペースで安心してお互いの信頼関係を築いていかれるよう努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様がまだ迷われていたり、不安なお気持ちでおられることもあるので、まずはお話ししたい事をゆっくりと伺い、その後サービスの開始にあたり必要なこと、ご要望等をお伺いしています。一度ではお互いに伝わりにくい事が多いのでその後も電話などで連絡を取り合うこともあります。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お住まいを変えてグループホームに入居するという大きな変化があるのでまずは、安心していただける場所であることをご理解いただけるよう努めております。その後個々の入居者様のご様子にあわせたサービスをしていかれるようにしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることは一緒にやっていただき、役割を持つことでその人らしく暮らせるようお手伝いさせていただいています。料理のできない若いスタッフは入居者様に野菜の切り方の名称やその切り方を教えていただいたり、洗濯もののたたみ方等を教わることもあります。年代の違うスタッフがそれぞれ息子や嫁、娘、孫のような役割で入居者様との関係を築けていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時間は特に決めておらず、いつでも来ていただいて、一緒にお食事やおやつ、レクリエーション等にもご参加いただいている。ご家族様だけでは大変な部分をお手伝いさせていただき事で、一緒に楽しめる時間を持っていただきたいと考えております。入居の契約の際、「これから長いお付き合いになりなす」「ご入居者様がより快適に生活していられるようパートナーとして協力し合っていきたいと思っております」とお伝えさせていただいております。常にそう思っております。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人が入居前からご利用されていた地域の活動、美容院や馴染みの店、医者には継続していかれるようお手伝いしています。お友達の面会や電話の取次ぎも常時しています。</p>	<p>職員が利用者の行きつけの美容院、理髪店へ同行したり、家族と法事や墓参りに行く方もいる。時には友人や知人が来訪し、居室で歓談したり、届いた手紙や年賀状の返事を書く手伝いをし、馴染みの関係を継続するように支援している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ご本人同士の関係性を考慮しながらよりよい雰囲気でご過ごしていかれるよう、日々の外出、レクリエーション話題提供をしています。今ある関係性に執着せず、新しい発見を大切にしたいと思っております。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も電話でご本人やご家族様の近況報告をしてくださっていることもあります。季節の便り等で関係性を保っていききたいと考えております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	著しく危険であったり、他の入居者様に迷惑や不快がないことであれば出来る限りはご本人の想いに沿ってお手伝いさせていただきます。	職員は日常の行動や表情の中から、利用者の意向や希望を汲みとるように努めている。意向を伝えにくい方には、居室や気持ちがゆったりとする入浴時、夜間帯に話を聞くことで思いの把握に努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	認知症があり、正確にお伺いすることは難しいこともありますが、ご家族様からのお話や日常の中でのお話から、馴染みのもの好みのやり方を伺い、できるだけ決定はご自身で行かせる環境作りに努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事、水分の摂取量、バイタル測定値、日常の様子を記録し、その日の状態をスタッフ全員が把握し、安全に快適に過ごせるよう努めています。役割や、レクリエーション、外出等もご本人のご希望、心身状態等に合わせ、無理なく、楽しみながらできるよう配慮しています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様、介護スタッフ、訪問看護、かかりつけ医、可能であればご本人で、ご要望や、ご本人の現在の状況を共有し、安心して安全に、そして快適に暮らしていけるような介護計画が作成できるよう努めています。	介護計画は入居時のアセスメントやADL記録を基に家族と話し合い、職員間でカンファレンスを行って作成している。見直しは通常3か月、変化があれば随時状況に応じて行っている。	介護計画は、本人や家族、主治医・看護師の意見を探り入れ、職員の気づきや意見を出し合い作成することが大切です。多くの関係者との話し合いから、より現状に即した介護計画の作成を望みます。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や毎日 朝、夕の申し送り、各フロアの申し送りノートを基に職員間で情報共有をしケアの方向性を考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在は具体的な例はありませんが、今後そのようなニーズがあった時は法令遵守にのっとり、双方の想いを確認し、柔軟に対応していきたいと考えています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	可能である入居者様は公共の交通機関を利用し、外出を楽しまれたり、定期的な地域の催しに参加されたりしています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居にあたり、ご本人、ご家族様からかかりつけ医を変えたいと相談された入居者様以外は今までのかかりつけ医をご利用されています。受診の際は必要な情報を提供し、ご家族様が付き添いを希望された時は同行させていただいています。定期受診や、緊急受診時、ご家族様の都合がつかない場合は、かかりつけ医受診継続のためスタッフが同行させていただくこともあります。高齢で認知症である為、ご家族様の負担が多く受診が難しくなってきた入居者様に関しては、訪問診療の情報提供をし、ご希望があれば、連絡調整し、開始後はご家族様と連絡を取りながら医療と連携し健康管理をお手伝いさせていただいています。	本人や家族が希望するかかりつけ医による医療機関を継続して受診できるように支援している。家族に代わって職員が通院介助する場合もある。服薬などの医療情報は個人別に記録して、職員間で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>22年11月より医療連携体制加算を取れ入れています。入居者様の健康管理に関して相談し、適切な対応ができるよう努めております。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>お見舞いに伺い、ご様子を拝見させていただいたり、ご家族様とは密に連絡を取り、入居者様の状況を把握できるように努めております。必要であれば、ご家族様了承の上、病院からも情報提供を受け、ご本人、ご家族様共に安心して治療できるよう、また退院に向けて適切な対応が出来るよう準備していくようにしています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時の契約の際、重度化した場合や、終末期には双方で話し合い状況に適した対応をしていきたいとお伝えしてあります。訪問看護導入時、終末期の指針を作成しました。ご本人、ご家族様の望むこと、事業所で出来る事をキチンとお互いに理解し合ったうえで、医療機関、訪問看護と連携し、支援していきたいと思えます。</p>	<p>いままでに看取りは行っていないが、ターミナルケアは家族の要望があればできるだけ支援を行う方針であり、重度化・終末期のケアの対応、指針を策定している。急変時には主治医・訪問看護師、家族・職員が話し合い、利用者にとって最善の方法を採るよう方針を関係者間で共有している。ターミナルケアの勉強会も実施している。</p>	<p>重度化・終末期のケアの対応、指針を平成22年10月に策定しています。現在、重度の利用者はいませんが、できるだけ早い段階から本人・家族と話し合いの機会を作り、同意書の作成など、体制づくりが求められます。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>当事業所にあつた対応を考え、定期的に機会を設け、繰り返し訓練していかれるよう計画しました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	23年3月の運営推進会議で、消防署員さんから、災害時の対応等のアドバイスをしてもらいました。それをもとに、上記計画に組み入れ訓練していきたいと考えております。23年11月近隣のご協力をお願いして避難訓練を予定しています。	防災・避難訓練は、消防署の指導を得て、建物内の事業所が合同で夜間想定の実施している。2階・3階の利用者は、まずベランダへ誘導するように指導しており共有されている。近隣の方には運営推進会議を通じて協力要請をしている。非常用の食料・飲料水の備蓄はある。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活において常に心がけています。	職員は入居時に守秘義務についての誓約書を提出し、日頃よりプライバシーを損ねることのないように言葉づかいに配慮している。個人情報を含む書類は施錠のできる書庫に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症があるため周りに想いがうまく伝わらなかったり、誤解をされてしまう事も多くあるので、そのような事で辛い思いをしたり、不信感につながらないように十分配慮しながら一人一人の想いに耳を傾けるよう努めています。可能である方はご自分で、お一人では難しい方は、お気持ちを考えながら自分で決められることは自分で決定していられるようお手伝いしております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームでの一日の過ごし方、食事や、活動等の時間はおおむね決めてありますが、参加や、決定はご本人にお任せしています。無理じいをせず、楽しんで参加していただける声掛けを心掛けています。他入居者やスタッフとの交流を大切にしながらも、ご本人のペースで生活できるよう配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人らしい、ご本人がお好きな装いをさせていただいています。ご自宅から持ってこられた服で、長く大切にされていたものをお召しになっている事が多くあります。認知症がある為に季節に合わない服装や、正しい着用ができていない事もあります。そんな時はご本人にさりげなくお伝えし、ご自分で納得されてから一緒に適した服を選び着用させていただいています。散髪、髪染め等もご希望があればお手伝いしています。起床時や入浴後髪の手入れや、衣類等の食べこぼし（認知症があり、難しい入居者様もおられますが、無理のないよう）眼や二、耳垢、爪等も毎日の生活の中で配慮しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	「お腹がすいた」「食べたい」気持ちになるように出来るだけ活動に参加していただけるよう、活動内容を工夫したり、声掛けを工夫しています。皆で同じものを頂くので毎食お好みの物はお出しできませんが、食べたい物や、お好きなものを伺いお出しできる機会を作るよう努めています。食事の準備や後片付けができる入居者様には一緒に手伝って頂いています。	利用者は職員と一緒に食材の皮むき、盛りつけ、片付け、テーブル拭きなどを行っている。食事は職員も利用者と同じ食卓で同じ物を食べて声かけや食事介助をしている。誕生会にはケーキを提供し、色紙に寄せ書きをしてお祝いしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べられる量はそれぞれ違うので盛り付けに工夫をしたり、必要な入居者様にはメニューによって食べやすく切ってお出しすることもあります。お食事をされている様子、食事の量を把握し、状況に適したお食事がお出しできるようにお手伝いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、お一人ずつに合わせた口腔ケアをしています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>入居者様に合わせた排泄パターン、習慣でお手伝いしています。その日の体調や、排泄記録をもとにトイレの声掛けや、下着の使い分けをし、快適に清潔に過ごせるよう配慮しています。</p>	<p>排泄チェック表により、一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導をしている。自宅でおむつをしていた方が、入所後パットとなり、リハビリパンツから布パンツに改善した方もいる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>午前中のお茶の時間は毎日ヨーグルトとバナナを召し上がっていただいています。楽しみながら運動量がとれるよう散歩や買い物を日常の中に取り入れています。雨天の時は体を動かせるような室内ゲーム等で運動量を取るようになっています。便秘になりやすい入居者様には、毎日プルーンを召し上がっていただき、水分摂取を心がけていますがそれでも困難な時は排泄表を基に排便の有無を確認し、必要な場合はご本人に処方されている下剤を服用していただく等の排便管理をしています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ご本人の好きな湯加減に調節し、お一人ずつ入浴していただいています。ご希望のある入居者様には入浴予定日以外でも入浴していただいています。</p>	<p>入浴は基本的には週2回だが、希望があれば心身の状態を考慮し、2回以上でも入浴できるように支援している。入浴したがらない方には、声かけする人や時間を変えるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間もそれぞれ違うので 休みたくなったらお休みいただくようにしていますがあまりに深夜まで休まれない様子や認知症がありご本人でその状況が判断できず入眠するタイミングを逃し、興奮状態になられる入居者様には、眠くなるような雰囲気づくりをし、落ち着いて眠れるよう配慮しています。日中もその日の体調や入居者様それぞれの習慣に応じてお休みいただいています。照明や寝具等も気持ちよく休めるよう、できるだけお好みに合わせて整えています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に確認できるよう、最新の薬情を薬箱の近くに設置しています。服薬時はスタッフ2人以上での確認を徹底しています。体調や症状の変化があった時は、ご家族様、医療機関と連携を取り、適切な服薬ができるようお手伝いします。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に合わせた行事や 入居者様それぞれに伺いながら楽しめること、気分転換出来る事を計画しています。時には入居者様が自主的に役割を担ってくださったり、活動内容を決定し実施、進行して下さるので、そのような時はお任せし、見守りとしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近くに商店街や公園がいくつかあり、その日の天気や皆様の気分に合わせて散歩の行き先を決めていっています。ご本人が希望されていても、普段は行かれないところは、ご家族様に協力していただいたり、あらかじめ日にちを決めてその日は外出の為に職員配置をし、安全に出かけられるようにしています。</p>	<p>天気の良い日や体調、希望に応じて近くの公園や商店街に車いすの方も散歩に出掛けている。職員と一緒にスーパーマーケットへ日用品の買い物に出掛ける時もある。花見や近くのアルパカ牧場へ外出し、寿司店にて食事をしている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人が混乱することなく保管でき、ご家族様もそれを希望されている入居者様はご自分でお財布を管理されています。ご自身で管理が難しい入居者様は、金庫預かりとし、買い物時、外出時ご本人にお渡しし、お買いものを楽しんで頂いております。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>いつでも希望された時はお手伝いしています。年賀状・暑中見舞いはフロアでのレクリエーションで作成し、ご家族様に送らせていただいています</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>お掃除や、季節の飾り、花を活ける等入居者様と一緒に楽しみながらやっています。</p>	<p>共用空間は明るく清潔で、大きなガラス窓から外の樹木や天気の移り変わりを見ることができる。食堂と談話コーナーが別になっていて、食事を終えた利用者は、談話コーナーに移動したり、食堂の片隅の腰掛けに座ったりして、思い思いにくつろいでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は自然に定着していったが、その日の気分やご本人の希望で皆さんが楽しめるよう臨機応変に対応しています。リビングのソファもその時の状況に応じてご自由に楽しいんでいただけるよう配慮しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のお好みや、使いなれた寝具家具をお持ちいただき、ご自由にレイアウトしていただいています。カーテンは 消防署のご指導により防災の物に交換してもらっています。	居室には使い慣れたタンスなどの調度品、人形や人気歌手のポスターを貼り、家族の写真や仏壇を飾り、居心地よく過ごせる部屋となっている。夜間、ベットの柵に職員を呼ぶための鈴がある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全にご自分で 歩いて移動していただけるよう床は段差のないフラットなつくりになっています。その時の入居者様の状況に応じて「トイレ」「風呂」ご本人の居室を分かりやすく表示し、迷わずに移動できるようにしています。表示がある事で、できる入居者様はタンスの引き出しの中に入っているものを張り、ご自分で出し入れできるようになりました。カレンダーに予定を書き込みご自分で外出や受診日の確認をしておられる入居者様もいらっしゃいます。、、		

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490700067	事業の開始年月日	平成21年6月1日
		指定年月日	平成21年6月1日
法人名	大信産業株式会社		
事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん・3F山ちゃん		
所在地	() 〒235 - 0011 横浜市磯子区丸山1丁目16 - 5		
サービス種別 定員等		登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	レ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成23年8月3日	評価結果 市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医食同源問の考え方から、きちんとした食事をすることで健康な心と体を維持し、その人らしく暮らしていくことをお手伝いさせていただきます。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん
ユニット名	山ちゃん(3F)

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	レ	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	レ	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		レ	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	レ	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	レ	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		レ	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	レ	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		レ	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	レ	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	レ	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の中に「そのひとらしく」を掲げ、住み慣れた地域の中で、たのしみを持って暮らしていけるような会話や外出をしたり、行きつけの美容院、かかりつけ医に継続していかれるようにお手伝いしています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入れていただき行事等に参加させていただいている。地域の子供会の古紙回収。地域の商店を利用したの買い物や毎日の散歩で地域の方々との交流を図れるようまた、近隣に在住のスタッフがいる事で地域の情報や話題を多くご利用者様と共有できていると思います。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎日の生活の中で、見学に来られた皆様にお伝えしたり、実際にご入居者様と話をさせていただいたりすることで、開設前の説明会で近隣の皆様が挙げられた不安や認知症の入居者さまへの恐怖感等はなくなっていると思います。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催することで、コミュニケーションもとれ、お話ししやすい雰囲気になってきています。会議で要望された事は、すぐに対応するように努めています。実際に会議で、前回要望したことをすぐにやらしてもらえたと評価頂いた事例もあります。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の状況を報告し、指導をいただきながら運営しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>日常の業務の中で身体拘束になりうる可能性のあることはその場で確認し合い廃止しています。特に言葉による拘束等は気づかぬうちに起り得る可能性が大きいので十分配慮しています。定期的に話し合いの場を設け、事例を挙げながら確認し合う体制を作りました。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>意識の中にない虐待があるのでは・・・と考え、スタッフの虐待に関する知識や、認識度に合わせて事例を挙げながら検討する機会を定期的に設ける体制を作りました。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>今後 機会を設けていきたいと思えます。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の時には、一緒に契約書、重要事項説明書を確認しています。その場では思いつかないこともあるので 後からのご質問等もお受けすることをお伝えしています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見BOXを設置しました。皆様からのご意見を運営に反映できる様に努めてまいります。面会に来られたご家族様には、お時間があれば一緒におやつやお茶を召し上がっていただき、話しやすい雰囲気作りをするようにしています。今後、気軽に情報交換できる場を考えていきたいと思えます。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りや代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時やミーティング時以外にもスタッフから申し出があれば常に聞いていき、必要なことであればすぐに実施し、全体で決めるべきことはミーティングの議題として検討しています。申し出られない事もあると思うので、個人面談をすることもあります。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めていると思います。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に適した研修を提案したり、力量に合わせたスタッフ配置を心がげ業務のなかで学び、成長していかれるよう配慮しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム連絡会に加入し勉強会等に参加。横浜市の研修等で同職種の交流や連携を図れるようにしています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	認知症のご利用者様なので、ゆっくりとご本人のペースで安心してお互いの信頼関係を築いていかれるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様がまだ迷われていたり、不安なお気持ちでおられることもあるので、まずはお話ししたい事をゆっくりと伺い、その後サービスの開始にあたり必要なこと、ご要望等をお伺いしています。一度ではお互いに伝わりにくい事が多いのでその後も電話などで連絡を取り合うこともあります。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お住まいを変えてグループホームに入居するという大きな変化があるのでまずは、安心していただける場所であることをご理解いただけるよう努めております。その後個々の入居者様のご様子にあわせたサービスをしていかれるようにしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることは一緒にやっていただき、役割を持つことでその人らしく暮らせるようお手伝いさせていただいています。料理のできない若いスタッフは入居者様に野菜の切り方の名称やその切り方を教えていただいたり、洗濯もののたたみ方等を教わることもあります。年代の違うスタッフがそれぞれ息子や嫁、娘、孫のような役割で入居者様との関係を築けていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時間は特に決めておらずいつでも来ていただいて、一緒にお食事やおやつ、レクリエーション等に参加していただきご家族様だけでは大変な部分をお手伝いさせていただく事、一緒に楽しめる時間を持っていただきたいと思います。入居の契約の際、「これから長いお付き合いになります」「ご入居者様がより快適に生活していけるようパートナーとして協力し合っていきたいと思っております」とお伝えさせていただいており、常にそう思っております。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人が入居前からご利用されていた地域の活動、美容院や馴染みの店、医者には継続していかれるようお手伝いしています。お友達の面会や電話の取次ぎも常時しています。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ご本人同士の関係性を考慮しながらよりよい雰囲気でご過ごしていかれるよう、日々の外出、レクリエーション話題提供をしています。今ある関係性に執着せず、新しい発見を大切にしたいと思います。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も電話でご本人やご家族様の近況報告をしてくださっていることでもあります。季節の便り等で関係性を保っていきたいと考えております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	著しく危険であったり、他の入居者様に迷惑や不快がないことであれば出来る限りはご本人の想いに沿ってお手伝いさせていただきます。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	認知症があり、正確にお伺いすることは難しいこともありますが、ご家族様からのお話や日常中でのお話から、馴染みのもの好みのやり方を伺い、できるだけ決定はご自身で行かれる環境作りに努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事、水分の摂取量、バイタル測定値、日常の様子を記録し、その日の状態をスタッフ全員が把握し、安全に快適に過ごせるよう努めています。役割や、外出、レクリエーション等もご本人のご希望、心身状態等に合わせて無理なく楽しみながらできるように配慮しています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様、介護スタッフ、訪問看護、かかりつけ医、可能であればご本人で、ご要望や、ご本人の現在の状況を共有し、安心して安全に、そして快適に暮らしていられるような介護計画が作成できるよう努めています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や毎日 朝、夕の申し送り、各フロアの申し送りノートを基に職員間で情報共有をしケアの方向性を考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在は具体的な例はありませんが、今後そのようなニーズがあった時は法令順守にのっとり、双方の想いを確認し、柔軟に対応していきたいと考えています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的な地域の催しに参加し、暮らしの中に楽しみを持ってもらえるようにしています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居にあたり、ご本人、ご家族様からかかりつけ医を変えたいと相談された入居者様以外は今までのかかりつけ医をご利用されています。受診の際は必要な情報を提供し、ご家族様が付き添いを希望された時は同行させていただいています。定期受診や、緊急受診時、ご家族様の都合がつかない場合は、かかりつけ医受診継続のためスタッフが同行させていただくこともあります。高齢で認知症である為、ご家族様の負担が多く受診が難しくなってきた入居者様に関しては、訪問診療の情報提供をし、ご希望があれば、連絡調整し、開始後はご家族様と連絡を取りながら医療と連携し健康管理をお手伝いさせていただいています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>22年11月より医療連携体制加算を取れ入れています。入居者様の健康管理に関して相談し、適切な対応ができるよう努めております。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>お見舞いに伺い、ご様子を拝見させていただいたり、ご家族様とは密に連絡をとり、入居者様の状況を把握できるよう努めております。必要であれば、ご家族様了承の上、病院からも情報提供を受け、ご本人、ご家族様共に安心して治療できるよう、また退院に向けて適切な対応が出来るよう準備していくようにしています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時の契約の際、重度化した場合や、就末期には双方で話し合い状況に適した対応をしていきたいとお伝えしてあります。訪問看護導入時、終末期の指針を作成しました。ご本人、ご家族様の望むこと、事業所で出来る事をキチンとお互いに理解し合ったうえで、医療機関、訪問看護と連携し、支援していきたいと思えます。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>当事業所にあった対応を考え、定期的に機会を設け、繰り返し訓練していかれるよう計画しました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	23年3月の運営推進鍵で、消防署員さんから、災害時の対応等のアドバイスをしてもらいました。それをもとに、上記計画に組み入れ訓練していきたいと考えております。23年11月近隣のご協力をお願いして避難訓練を予定しています。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活において常に心がけています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症があるため周りに思いがうまく伝わらなかったり、誤解をされてしまう事も多くあるので、そのような事で辛い思いをしたり、不信感につながらないよう十分配慮しながら一人一人の想いに耳を傾けるよう努めています。可能である方はご自分で、一人では難しい方は、お気持ちを考えながら自分で決められることは自分で決定していかれるようお手伝いしております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームでの一日の過ごし方、食事や、活動等の時間はおおむね決めてありますが、参加や、決定はご本人にお任せしています。無理じいをせず、楽しんで参加していただける声掛けを心掛けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人らしい、ご本人がお好きな装いをしていただいています。ご自宅から持ってこられた服で、長く大切にされていたものをお召しになっている事が多くあります。認知症がある為に季節に合わない服装や、正しい着用ができていない事もありますが、そんな時はご本人にさりげなくお伝えし、ご自分で納得されてから一緒に適した服を選び着用していただいています。散髪、髪染め等も ご希望があれば お手伝いしています。起床時や入浴後髪の手入れや、衣類等の食べこぼし（認知症があり、難しい入居者様もおられますが、無理のないよう）眼やに、耳垢、爪等も毎日の生活の中で配慮しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「お腹がすいた」「食べたい」気持ちになるように出来るだけ活動に参加していただけるよう、活動内容を工夫したり、声掛けを工夫しています。皆で同じものを頂くので毎食お好みの者はお出しできませんが、食べたい物や、お好きなものを伺いお出しできる機会を作るよう努めています。食事の準備や後片付けができる入居者様には一緒に手伝って頂いています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べられる量はそれぞれ違うので盛り付けに工夫をしたり、必要な入居者様にはメニューによって食べやすく切ってお出しすることもあります。お食事をされている様子、食事の量を把握し、状況に適したお食事をお出しできるようお手伝いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、お一人ずつに合わせた口腔ケアをしています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>入居者様に合わせた排泄パターン、習慣でお手伝いしています。その日の体調や、排泄記録をもとにトイレの声掛けや、下着の使い分けをし、快適に清潔に過ごせるよう配慮しています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>午前中のお茶の時間は毎日ヨーグルトとバナナを召し上がっていただいています。楽しみながら運動量がとれるよう散歩や買い物を取り入れています。雨天の時は体を動かせるような室内ゲーム等で運動量を取るようにしています。便秘になりやすい入居者様には、毎日プルーンを召し上がっていただき、水分摂取を心がけていますがそれでも困難な時は排泄表を基に排便の有無を確認し、必要な場合はご本人に処方されている下剤を服用していただく等の排便管理をしています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ご本人の好きな湯加減に調節し、お一人ずつ入浴していただいています。ご希望のある入居者様には入浴予定日以外でも入浴していただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間もそれぞれ違うので 休みたくなったらお休みいただくようにしていますがあまりに深夜まで休まれない様子や認知症がありご本人でその状況が判断できず入眠するタイミングを逃し、興奮状態になられる入居者様には、眠くなるような雰囲気づくりをし、落ち着いて眠れるよう配慮しています。日中もその日の体調や入居者様それぞれの習慣に応じてお休みいただいています。照明や寝具等も気持ちよく休めるよう、できるだけお好みに合わせて整えています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様個々の薬情を把握し、処方通りに服薬していただいています。体調や症状の変化があった時は、ご家族様、医療機関と連携を取り、適切な服薬ができるようお手伝いします。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割分担、外出や、活動の計画時、入居者様それぞれの好みや、得意なことを活かせるよう配慮しています。ご本人の馴染みの嗜好品も生活の中の楽しみとして続けていかれるようお手伝いしています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近くに商店街や公園がいくつかあり、その日の天気や皆様の気分に合わせて散歩の行き先を決めていっています。ご本人が希望されていても普段は行かないところは、ご家族様に協力していただいたり、あらかじめ日にちを決めてその日は外出の為に職員配置をし、安全に出かけられるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人が混乱することなく保管でき、ご家族様もそれを希望されている入居者様はご自分でお財布を管理されています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>いつでも希望された時はお手伝いしています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>お掃除や、季節の飾り、花を活ける等入居者様と一緒に楽しみながらやっています。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事の席は自然に定着していったが、その日の気分やご本人の希望で皆さんが楽しめるよう臨機応変に対応しています。リビングのソファもその時の状況に応じてご自由に楽しいんでいただけるよう配慮しています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人のお好みや、使いなれた寝具家具をお持ちいただき、ご自由にレイアウトしていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全にご自分で歩いて移動していただけよう床は段差のないフラットなつくりになっています。その時の入居者様の状況に応じて「トイレ」「風呂」ご本人の居室を分かりやすく表示し、迷わずに移動できるようにしています。表示がある事で、できる入居者様はタンスの引き出しの中に入っているものを張り、ご自分で出し入れできるようになりました。カレンダーに予定を書き込みご自分で外出や受診日の確認をしておられる入居者様もいらっしゃいます。、、		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームみのり丸
ちやん山ちやん

作成日 平成23 年11 月 6 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	<p>本希望の方々のケアの事が多いが、介護計画が遅れてしまう事が多く、入居者様にとってタイムリーな介護計画が出来ていない。服薬や処置に関しては、日々変わる状況もあり、医療職との連携することですぐに具体的なプランに取り入れたいと思う。</p>	<p>入居者様がよりよく暮らしていかれるよう、ご家族様に安心して頂けるような現状に即した介護計画の作成。</p>	<p>・個人介護記録に「ご家族様より」という欄を作り、スタッフの誰かが日常の中で面会時や電話等での会話を書き留められるようにし、ご希望、ご要望等があれば反映させていく。</p> <p>・訪問看護、訪問診療時にはご家族様にも可能であれば同席して頂き、入居者様の状況を共に理解し、現状に即した計画を作成していく。</p> <p>・介護計画の周知の方法、経過記録の見直し。</p> <p>・各スタッフが理解して行かれるよう研修をする。</p>	6か月

				1年
2	33	今後どのようなにしていきたいかという事に関して全部の入居者様、ご家族様との話し合いが出来ていない。入居時は入居し、環境が変わったことで、まだそこまでは考えていなかったご家族さまも、2年半経過し、体調の変化等を心配しています。グループホームで出来る事出来ないことを明確にし、どのように最後に迎えていきたいかというお考えをしっかりと確認し合い同意書の作成が必要。	重度化・終末期に向けての体制作り。	娘様が定年退職したから自宅に戻ることを希望されている方や、特養の入居をお待ちの方もいます。それぞれのお考えや、入居者様の状況今後起こりうる可能性のあること等を、訪問看護師さん、同席して頂き、話し合いの場を設け、ご家族様、医療職、介護職がお互いに、最善の理解のもと、最善の方法をとつていきます。訪問看護師さんに相談しながら、同意書の作成を予定しています。
3				
4				
5				

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。